

# 遼寧だより(令和6年1月)

## ■ 1月の実施事項について

12/30(土)～1/1(月) 元旦休暇・・・(1)

1/26(金)～2/6(火) 一時帰国

### (1) 元旦休暇について

「正月」といえば、日本では1月1日を指しますが、中国では旧暦を重視しているため2月の春節が正月に当たります。そのため、街中の活気や雰囲気はそこまで大々的ではありませんが、中国でも元旦休暇として12/30～1/1の3日間、仕事や学校が休みになりました。

私は、瀋陽師範大学の先生からのお誘いで、遼寧伝媒学院の李校長の家で12/31～1/1を過ごしました。

まず、本溪市にある本溪水洞を見学しました。本溪水洞はアジア最長の鍾乳洞で、内部は地下水が溜まっており、小型ボートに乗って見学します。鍾乳洞内には、石灰質を含む雨水によって形成される鍾乳石が至る所に確認できます。様々な形をした鍾乳石は、100年で約1センチずつ成長しているそうで、現在の鍾乳洞に至るまでの長い歴史と自然の壮大さを感じました。鍾乳洞内は太陽光の影響を受けないため、温度が1年間を通して一定に保たれており、外がマイナス10度台でも、鍾乳洞内に入れば暖かかったです。

その後は、李校長のご家族も含めて夕食会がありました。中国東北地域では元旦に餃子を食べるのが一般的だそうです。私たちは鉄鍋炖(テッカトン)を食べました。鉄鍋に骨付き肉や野菜を入れ、醤油味で味付けした煮込み料理で、中国東北地方の特色料理の1つです。寒い冬にぴったりの料理で大変おいしかったです。

食事後、李校長のご自宅にお邪魔し、ご家族と一緒にCCTVの「跨年演唱會」という歌番組をテレビで見ながら過ごしました。

中国で2024年を迎えることができ、とても貴重な経験になりました。受け入れてくださった李先生ご家族、瀋陽師範大学の先生方に感謝申し上げます。



本溪水洞



集合写真

左から師範大日本人留学生、師範大日本語学科教師、李校長、筆者



鉄鍋炖



元旦のテレビ番組